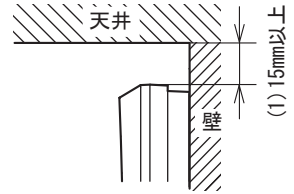


施工の際は、本分電盤に同梱の『住宅用分電盤 施工説明書』も必ずお読みください。

1 住宅用分電盤の取り付け

[1] 取付位置について

- (1) カバーの取り外し・取り付けのスペースを確保するため、天井と本体上部の間隔が15mm以上になるように取り付けてください。
- (2) 照明器具(ダウンライト)の近くに取り付ける場合は、使用されるダウンライトの近接限度距離以上離してください。過熱による変形・火災の原因となるおそれがあります。



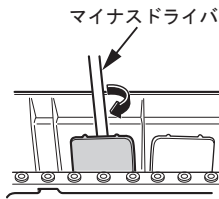
[2] 取り付け、壁の開口について

露出取り付けする場合

- (1) ボックス底面の配線孔に合わせて壁に穴を開けます。
- (2) ボックスの四隅に取り付けているねじでボックスを固定します。

半埋込取り付けする場合

- (1) 右表の開口寸法で壁に穴を開けます。
- (2) ボックス左右側面の薄肉部を利用して、ねじでボックスを固定します。
- (3) ボックス上側面の配線孔用ノックアウト部は、マイナスドライバを差し込み、ひねると開口します。



開口寸法(半埋込用)

[mm]

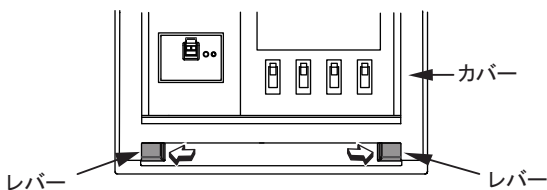
本体寸法(タテ×ヨコ)	開口寸法(タテ×ヨコ)
320×347	304～306×331～333
320×381	304～306×365～367
320×415	304～306×399～401
320×449	304～306×432～434
320×483	304～306×466～468
320×517	304～306×500～502
320×551	304～306×534～536
320×619	304～306×602～604
320×687	304～306×670～672

- ※ 住宅用分電盤の取り付け、壁の開口については、付属の取付補助シートをご利用ください。
- ※ 住宅用分電盤を壁に取り付ける際、ボックスから内器ユニットを取り外すことができます。内器ユニットを固定している5箇所のねじ(黄色)を緩め、内器ユニットをスライドしながら取り外してください。

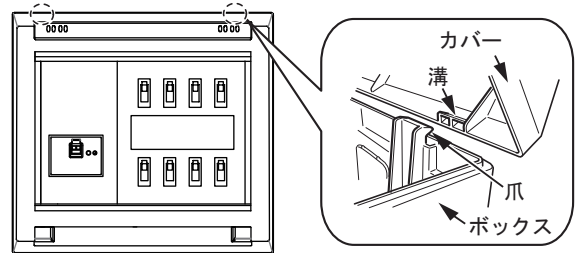
注意 右表の開口寸法は、ボックス底面の寸法と異なります。ボックス底面に合わせて穴を開けないでください。開口寸法が小さい場合、ボックスを無理に取り付けると変形するおそれがあります。

2 カバーの取り外し・取り付け

取り外し カバー下側両端のレバーを外側へスライドさせてカバーを手前へ持ち上げます。

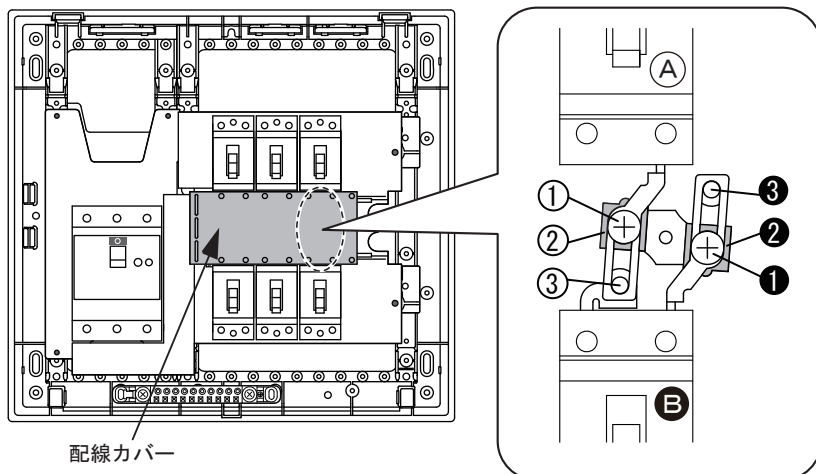


取り付け ボックス上部の爪(2箇所)にカバー上部の溝を引っかけて、カバー下部をそのままボックス側に押し込みます。



3 分岐ブレーカの電圧切り替え

必ず2P2E型(100/200V)のブレーカを使用してください。必ず主幹ブレーカを切ってください。



手順

(1) 配線カバーを取り外します。

(A) のブレーカを200Vに変更する場合

- (2) ①のねじをゆるめます。
- (3) ②の切替片を③側にスライドして動かします。
- (4) ①のねじを③のねじ穴に締めます。
- (5) ねじを増締めします。
- (6) カバー裏面に貼付している200Vシールをブレーカに貼付します。

(B) のブレーカを200Vに変更する場合

- (2) ①のねじをゆるめます。
- (3) ②の切替片を③側にスライドして動かします。
- (4) ①のねじを③のねじ穴に締めます。
- (5) ねじを増締めします。
- (6) カバー裏面に貼付している200Vシールをブレーカに貼付します。

(7) 配線カバーを取り付けます。

4 速結式アース中継端子への電線接続

[1] 速結端子への接続

電線をストリップゲージに合わせて被覆を12mm剥離し、連結端子の奥まで確実に差し込みます。

[2] 電線の抜き方

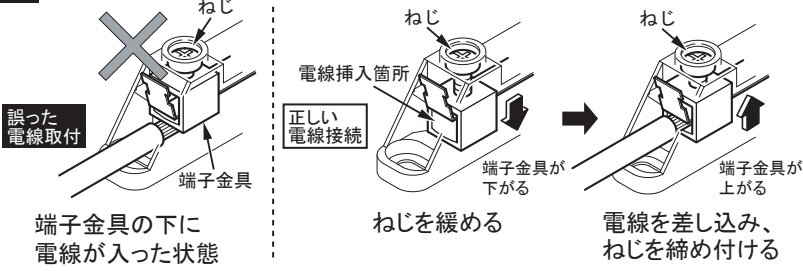
解除ボタン(白色)をドライバなどで押しながら、電線を抜きます。

[3] ねじ端子金具への接続

電線の被覆を15mm剥離し、ねじ端子金具のねじを完全に緩めてから、ねじ端子金具に電線を奥まで差し込み、ねじを締め付けます。

ねじ締め付トルク 1.9 ~ 2.0N・m

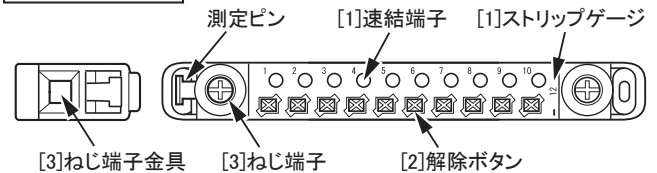
注意 ねじ端子金具のねじを緩めない状態で電線を差し込まないでください。



注意

- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良の原因となります。電線の変形・腐食部分を取り除いた後、電線の被覆を剥離し、接続し直してください。
- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。

各部の名称



●接続可能電線(速結式アース中継端子)

速結端子: $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$ Cu(銅)単線専用
 ねじ端子金具: $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$ Cu(銅)単線
 3.5 ~ 14mm² より線

住宅用分電盤 スマートばんの取り扱いについて

■施工上のご注意

注意

- 電気工事は、有資格者(電気工事士)が行ってください。
- ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が分電盤、遮断器内部に入らないように施工してください。感電、火災、不動作のおそれがあります。
- 配線作業は上位遮断器を切にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- 端子のL相とN相を正しく接続してください。(AC100V回路専用器種の場合)
- 端子方式が溶ダレス端子の器種については、より線のハンダ上げやバインドは行わずに接続してください。分岐ブレーカの端子方式は溶ダレス端子のため、接続にはご注意ください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。(内線規程)

■使用上のご注意

注意

- 電気機器のアース端子は必ず接地してください。
- 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを入りにしてください。感電、火災のおそれがあります。
- 漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認を行ってください。漏電遮断器が切にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。

■保守・点検上のご注意

注意

- 保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- 保守・点検は、上位遮断器を切にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電、短絡のおそれがあります。

テンパール工業株式会社

■本店 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42
 代表 TEL(082)282-1341 FAX(082)282-8680

技術問い合わせ窓口 TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534

受付時間 9:00 ~ 17:30 [月曜日~金曜日(祝・祭日、弊社休業日を除く)]